

令和6年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 目的や意図に応じて、事実や感想、意見を区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力が身に付いている。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりして、心に残ったこととその理由をまとめて書くことができる。
- 5年生までに学習している漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

【算 数（数学）】

- 計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述する力が身に付いている。
- 図形の側面や底面に着目し、角柱の面の数について、言葉や数を用いて記述する問題の理解がよくできている。
- ÷小数のように、除数が小数である場合の除法の計算をすることに、やや課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 「自分には、よいところがある」の問いに、「ある」と答えた児童数が向上し、自分のよさに気づき、自信をもって取り組もうとする力が身に付いている。
- 「先生はあなたのよいところを認めてくれていますか」の問いに「はい」と答える児童が9割以上となり、自分のよさを認識し、さらに自分を高めようとする意識が芽生えている。
- 「目標や夢を持っていますか」の問いに、「はい」と答える児童が9割以上となり、目標や夢に向かって努力する意欲が高まっている。
- 授業中においてタブレットを活用し、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることに課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があつた取組

- ・日常的に自分の考えを書く活動を取り入れた授業改善とノート指導の全校による推進
- ・算数科の重点単位における少人数指導の実施
- ・国語、算数で定着が不十分だった児童に対する個別の課題に応じた指導

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・算数では、四則計算を中心とした、基礎計算力の向上。特に、割り算の確実な定着
- ・国語では、各学年の漢字の書き取りの徹底と文の中で活用することの推進
- ・すくすくタイム（個別支援学習）の課題の内容の見直し、更なる個別化の指導の推進
- ・ICTを活用して、自分の考えや意見を伝えることを取り入れた授業改善
- ・全校でのグッジョブプロジェクト（自分の考えを書いて説明する力を高める取組）の推進

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があつた取組

- ・全職員での児童の努力や成果を具体的に褒めて自己肯定感を高める支援的な環境づくり
- ・全校でのグッジョブプロジェクトの取組（ノート名人の掲示、放送等）

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・計算の反復練習や漢字練習として、ミライシードを活用した個別最適な復習の充実
- ・授業において、タブレットを活用した表現や発表できる場の設定